



SATSUMASENDAI Master Plan 1

第1次薩摩川内市総合計画

基本構想（一部変更）・下期基本計画

『市民が創り 市民が育む 交流躍動都市』を目指して

薩摩川内市民憲章 (平成17年1月1日制定)

美しい自然と、古い歴史を誇りとするわたしたち薩摩川内市民は、

やさしくすれば、心はかよう。

はなしをすれば、だれでもわかる。

考えさえすれば、みちはひらける。

やりさえすれば、かならずできる。

という信条をもって

明るく豊かなまちをつくります。

市の木・花・鳥・魚 (平成17年2月13日制定)



市木／クロガネモチ



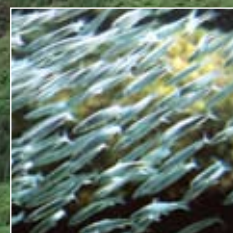
市花／カノコユリ



市鳥／メジロ



市魚(川)／アユ



市魚(海)／キビナゴ

ごあいさつ



平成16年10月、1市4町4村の合併により、新たなまち“薩摩川内市”としての歴史がスタートし、早くも5年が経過しました。その間、本市を取り巻く社会経済情勢は激しく変化し、世界的な金融危機による「経済の危機」、人口減少や少子・高齢化社会の到来による「構造的な危機」に直面するとともに、国における「新政権の誕生」など、大きな転換期を迎えています。

本市においても、特に周辺地域において、過疎化・高齢化により将来的に集落機能の維持・存続が危ぶまれる集落が出現するなど、市民の暮らしに直結する課題が生じています。

一方で、平成23年3月の九州新幹線の全線開通や南九州西回り自動車道の整備など、本市の将来を左右する大きな事業が展開されており、本市のまちづくりにとって、これからの5年間は極めて重要な期間であります。

このような状況の中、外部環境の急激な変化に弾力的に対応するとともに、様々な問題を克服し、誇りを持って地域を再生し、「みんなのふるさと 躍動薩摩川内」を実現するための基盤を築くため、第1次薩摩川内市総合計画の「基本構想」の一部を変更するとともに「下期基本計画」を策定しました。

本計画では、「“地域力”が奏でる“都市力”の創出」を基本理念に掲げ、「地域力」を高め、将来における「都市力」を向上させるための目標として、本市の将来都市像を「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」とし、その実現に向けた重点的・戦略的な取り組みとして「薩摩川内一体化躍動プラン」を定めています。

さらに、今回の基本構想の一部変更においては、広く市民の意見等を踏まえ、新たに「協働・参画」・「安心・快適」・「活力・交流」・「人材・組織育成」・「スピード・品質」の5つのキーワードからなる27項目を「総合計画における重点的取組」として定め、これまでの取り組みをさらに強化して参ります。

今後、景気の低迷や雇用情勢の悪化による市税収入の減少、合併による地方交付税の優遇措置制度の終了に伴う収入減が見込まれるなど、依然として厳しい財政運営を強いられることが予想されますが、中長期的な視点に立ち、許される財政条件の中で次世代の礎となる戦略テーマに果敢に挑戦していく考えです。

また、各地に存在する自然・歴史・伝統・文化などの地域資源について、市民一人ひとりが知り・学び・再評価することを通じて“地域の誇り”を確立するとともに、魅力ある地域資源を各地域が連携してネットワーク化することで「地域連携型観光圏」を創出するなど、経済基盤を確立し、持続的な成長が可能な“自立”した地域づくりを目指し、本計画の推進に全力を傾注して参ります。

最後に、この総合計画の策定に当たり、貴重な御意見や御提言をいただきました市民の皆様をはじめ、熱心に御審議いただきました自治総合審議会委員並びに関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成22年3月

薩摩川内市長 岩切 秀雄